

不活性ガス（二酸化炭素）消火設備

1. 二酸化炭素の消火原理

液体で貯蔵されている消火剤は、噴射ヘッドから放出された瞬間に気化し、効率よく拡散します。

拡散された消火剤は、酸素濃度を低下させる「窒息効果」と火災から熱を奪う「冷却効果」により火災を消火します。

2. 用途

機械式駐車場・発電機室・ボイラー室・塗装室など、水による消火では2次的被害を及ぼす可能性がある場所。

3. 特長

- ① コストパフォーマンスに優れています。
- ② 金属・電気機器類・油類・その他の物質に化学変化を及ぼしません。
- ③ 通常の保管であれば半永久的に変質しません。
- ④ 避圧口を必要としません。
- ⑤ 防護する部屋を密閉して消火剤を放出する「全域放出方式」と、防護する対象物に消火剤を直接放出する「局所放出方式」と選択できます。

4. ガス消火剤の選定ポイント

	HFC-227ea 消火剤	CO2 消火剤	ハロン消火剤
人の出入りがある場所	△	×	○
人が常時いない場所	○	○	○
危険物を取扱う場所	△	○	○
自動的に消火剤を放出	○	△	○
手動でのみ消火剤を放出	×	○	○
消火剤を安定して供給できる	○	○	×

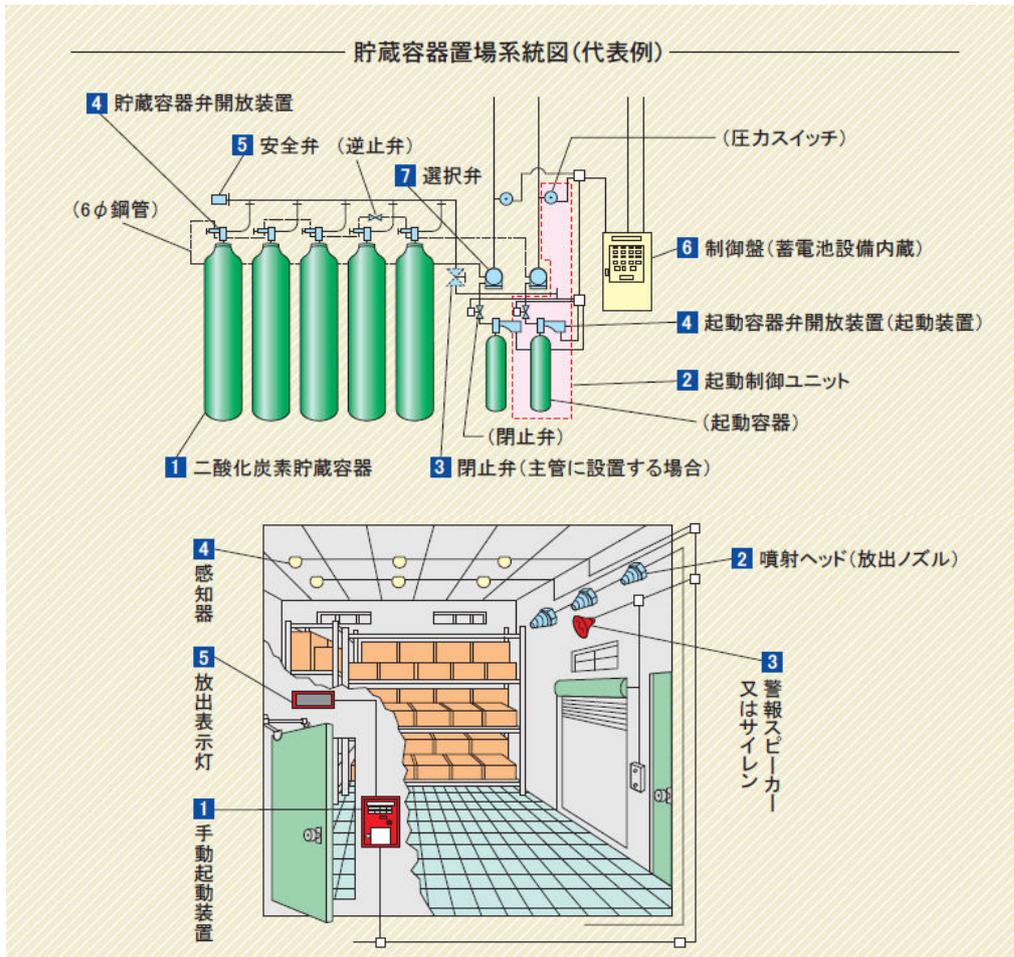
5. 注意

二酸化炭素消火剤は有する毒性により、生命に危険を与えます。

取扱には十分注意して下さい。

無人の防火対象物への設置をお勧めします。

6. システムのイメージ図



● 作動フロー (代表例)

